第74回日本医学図書館協会総会報告

深 貝 幹 雄*

近畿大学医学部図書館

I. はじめに

第74回日本医学図書館協会総会は、平成15年5月15日（木）と16日（金）の両日、大阪市内上本町の（財）大阪国際交流センターを会場として開催された。平成12年4月に中央図書館から医学部図書館へ異動になって最初に聞かされたことは、平成15年に近畿地区の代表機関として総会を開催しなければならないことであった。その時は、事務の引き継ぎ等の忙しさもあり、5月中旬に秋田で開催される第71回総会に館長と共に同行して視察をしてくるよう要請されたが、他の館員に行ってもらった。しかし、1年経って医学図書館関係の事情に慣れてくるにつれて事の重大さに気づかされるようになり、翌年の獨協医科大学が当番館で開催された第72回総会、そして昨年の愛媛で開催された第73回総会と館長を含めて4名で参加をし、開催準備の参考とするため、受付、会場、企業展示、懇親会等の写真をできるだけたくさん撮り、また当番館の方々にも話を伺うよう心がけた。

前回の総会終了後、平成14年6月14日（金）に大阪医科大学で開催された第81回近畿地区医学図書館協議会において報告できるように会場と会期を決定し、テーマを「最近の医学教育と図書館の役割」とすることに決めて提案し、了承していただいた。また、総会組織委員会の委員として3名の協力を依頼し、国公立よりそれぞれ1名を選出していただいた。それにより第74回日本医学図書館協会総会の組織委員会は以下のようにまとまった。

組織委員長 手塚 正（近畿大学医学部図書館長）
殿崎正明（専務理事 日本医科大学）
茂幾周治（総務担当理事 大阪医科大学）

吉田公子（中央事務局長）
松井英夫（京都大学）
山口 滋（大阪市立大学）
伊藤淑子（大阪歯科大学）
深貝幹雄（近畿大学）
吉富啓子（近畿大学）

II. 第1回組織委員会

平成14年10月4日（金）に総会会場の下見を兼ねて会場に付随した大阪国際交流センターホテルにて開催した。組織委員会に提出する議題、資料については前回の当番館、愛媛大学医学部分館より引継いだ以前の総会資料を参考とし作成した。提出した総会実施計画書案に基づいて館長司書会議の日程、総会の日程について協議を行い、一部修正を求められたがほぼ原案どおり了承された。基調講演者の人選についてはメインテーマにふさわしく現在の医学教育の動向に詳しい人に依頼することとした。またパネリストは3名として、医学教育の側から教員2名、図書館側から1名という構成とすることとなった。

館長司書会議議長（総会副議長）には組織委員の松井

総会会場

*Mikio FUKAGAI : 〒589-8511 大阪狭山市大野東 377 番地の 2.
Tel.072-366-0221 Fax. 072-368-2990
toshokan@med.kindai.ac.jp

（2003年9月2日 受理）

総会開会式

氏が推薦され了承いただいた。企業展示については、私立大学図書館協会総会を例にして展示を増やすことが提案され維持会員以外の企業にも依頼することとなった。そして、今後の文書発信について発信日の確認と発信者としての中央事務局と当番館の役割分担が協議された。また、経費節減をすることが求められ、文書発信については今回から「参加費の払込について（依頼）」に「出席者の確認について（依頼）」文書を同封することと講演依頼文書の中に講演要旨依頼文書も同封しておくことになり、総会資料についても以前は別々に印刷され配布されていたものを1冊にまとめて製本することになった。

Ⅲ. 第2回組織委員会

平成15年1月17日（金）に大阪国際交流センターホテルで開催された。基調講演者、パネリスト、パネルディスカッションの座長の人選がまとまり、依頼文書を送付することとなった。また、KMLA: Korea Medical Library Association（韓国医学図書館協議会）より来賓として会長を招待し、パネリストとしても参加してもらうことが決まり、平成14年11月にKMLA秋季学術大会に招待され、講演もされた殿崎理事に招聘の交渉にあたってもらうこととした。企業展示については維持会員12社、非維持会員9社の計21社に依頼文書を出すことになり、申込期限を3月14日にすることが了承された。

Ⅳ. 第3回組織委員会

総会開催まであと1ヶ月とせまった4月14日（月）に大阪国際交流センターで開催された。用意した資料に

基づいて準備状況についての報告をし、館長司書会議と総会のプログラムにそった運営と議事の進行を協議してもらった。総会前日開催の理事会会場とパネリスト打ち合せ会場、総会当日の会場設営と共に来賓・名誉顧問等の控室、企業展示会場、受付、飲食場所等について確認し、また、会場の舞台設営についても検討を行った。総会時に配布する資料についても確認を行い、特に今回より1冊にまとめることに決まった総会資料の中における各項目の内容や配列順序について協議をし、4月30日迄に原稿を取りまとめて、出稿後1週間で製本して納品という予定でいくことになった。

4月25日に総会会場の（財）大阪国際交流センターとの間で施設・設備使用について、また、都ホテル大阪と懇親会について最終打ち合せを行い会場の方の準備を進めた。そして一方で総会にて配布する文書、ハンドファイルに入れる資料の準備にもとりかかった。4月の人事異動の影響か、参加者名と人数の変更が参加申込提出期限を過ぎても多く有り、出席者名簿原稿の作成が滞った。また、総会参加費の振込についても、送金が遅れたものや忘れられていたもの、昼食を申込んでいて送金がないもの、勝手に中止して送金されていないものが少なからずあり、ハンドファイルに入れる総会参加費の領収書、昼食引換券の作成に支障が出た。企業展示については今回初めて参加してもらった企業もあり、会場についてや機材の持込、搬入日、搬入経路、電話回線の使用等についての問い合わせが多くあり対応と連絡が大変であった。総会開催日前日には、館員と近畿地区の協力員の方々、中央図書館からの応援者と受付、案内、場内整理、来賓接待等について打ち合せを行い万全を期すと共に会場設営と資料の配布を行った。夕方には、基調講演者、パネリストによる打ち合せを座長を交えて行い、また、講演に使用するパソコンとプロジェクターの接続等を確認して本番に備えていただいた。

Ⅴ. 館長司書会議

地区代表機関長としての手塚図書館長の開会挨拶に始まり、オリエンテーション、殿崎理事のコンソーシアム資料の説明と続いて、近畿大学松尾理先生の基調講演がメインテーマと同じ「最近の医学教育と図書館の役割」と題して行われた。医学教育の現状と動向およびその目標とするところについて、そしてそれに対する図書館が果たすべき役割について述べていただいた。午後からは、パネルプレゼンテーションが各自持ち時間30分で行わ

基調講演

れた。まず最初に図書館長としての立場から大阪医科大学の清水章先生に「医学教育の流れと図書館の取り組み」、続いて実際に医学教育に携っている立場から近畿大学の伊藤浩行先生に「PBL 教育と図書館の役割」、また医学教育を支援する図書館の側から東京慈恵会医科大学医学情報センターの阿部信一氏に自館での実例を基に「医学教育における医学情報センターの役割」として講演いただいた。最後に韓国より招待した Kim Nam Jin 氏に「韓国における医学教育と医学図書館の役割」と題して韓国の状況について講演していただき、そしてその後に、パネルディスカッションが活発に行われた。特に、日頃近くて遠い国として知ることの少ない、韓国のアメリカナイズされて改革の著しい医学教育と、それを支援する図書館の役割について質問が相次ぎ、Kim 氏が一つ一つに対して熱心に答えられていたのが印象的であった。終了後、場所を近鉄上本町駅近くの都ホテル大阪に移して懇親会が行われた。近畿大学中央図書館の櫻井館長の挨拶、そして日本医学図書館協会会長の清水先生に乾杯の挨拶をいただき歓談飲食の時を過ごした。

今年度は企業展示に参加の非維持会員企業からも多数出席申込みがあり盛会であった。総会終了後、協会のホームページに掲載されたスナップ写真の中に道頓堀名物の「かに道楽」の看板が写っていたのがあり、懇親会後も大阪の夜の観光を楽しんでいたように感じた。

VI. 総会

開会挨拶に続いて、来賓の文部科学省より朝倉徳浩学術基盤整備室長、厚生労働省より関英一医療技術情報推進室長、KMLA 理事長の Kim Hye Yang 氏、そして、日本薬学図書館協議会会長代行の木口敏子氏からご挨拶

をいただいた。今年度は、日本医学図書館協会賞に該当する業績が有り、授賞対象の阿部信一・奥出麻里共著の「図解 PubMed の使い方」について吉江担当理事より選考結果の説明があり、受賞者の両氏に対して清水会長より賞状と記念品が贈られた。その後壇上の舞台を変更し、理事・監事が登壇し、平成 14 年度事業報告、決算、平成 15 年度事業計画（案）、予算（案）の定例 4 議題が審議され拍手にて承認された。午後よりは、今後の協会のあり方と方向づけを決めるであろう重要議案「本協会の法人化について（理事会）」の審議に入り、NPO への登録申請についてと NPO 日本医学図書館協会定款（案）についての提案理由と経緯が殿崎理事より述べられ、質疑応答が活発に行われ、挙手による多数決によって承認された。また、もう一つの重要議案である「認定資格制度について（教育研究委員会）」もその創設、経緯と提案理由が吉江理事から述べられた後に審議の上、多数決によって承認された。

審議終了後、次期当番館である帝京大学医学部図書館の高田忠敬副館長に次回総会への招待の挨拶をいただき、引き続き閉会式に移り、地区機関代表として手塚館長が第 74 回日本医学図書館協会総会の閉会を宣言して全日程を終了した。

VII. 終わりに

総会が終わって 3 日後、5 月 19 日（月）の朝刊に新型肺炎 SARS に感染した台湾の男性医師が、総会開催にあたって宿泊案内し懇親会の会場でもあった都ホテル大阪に 8 日、9 日の両日にわたって泊っていたと発表されたことが載っており、驚くと共に二次感染について心配したが、幸いなことに数日後に無事終息して安堵した。

最後に、開催準備を進めるうえでいろいろ質問してお手を煩わしたにもかかわらずその都度適切な助言をしていただいた、前回当番館の小林さんと忽那さんに深く感謝をいたすと共に、何かとご協力をいただきました近畿地区医学図書館協議会の皆様、ご指導いただいた組織委員会の皆様、企業展示に参加していただいた企業各社、他開催にあたってご尽力を賜りました方々に誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

第 74 回日本医学図書館協会総会日程

平成 15 年 5 月 15 日（木）館長司書会議

メインテーマ 「最近の医学教育と図書館の役割」

9:30~10:00 受付

10:00~10:30 オリエンテーション

挨拶：手塚 正（地区代表機関長）

議長選出

10:30~12:00 基調講演

「最近の医学教育と図書館の役割」

松尾 理（近畿大学医学部教授）

12:00~13:30 昼食・展示見学

13:00~17:00 パネルプレゼンテーション・総合討論

座長：坪内政義（愛知医科大学）

「医学教育の流れと図書館の取り組み」

清水 章（大阪医科大学教授）

「PBL 教育と図書館の役割」

伊藤浩行（近畿大学医学部教授）

「医学教育における医学情報センター
の役割」

阿部信一（東京慈恵会医科大学）

「韓国における医学教育と医学図書館
の役割」

Kim, Nam Jin

（SKKU School of Medicine）

※15:30~16:00 休憩

17:00~18:15 休憩・展示見学

18:15~20:00 懇親会

平成 15 年 5 月 16 日（金）総会

9:30~10:00 受付

10:30~10:45 開会式

挨拶：

手塚 正（近畿大学医学部図書館長）

漬水英佑（日本医学図書館協会会長）

上野秀夫（近畿大学副学長）

朝倉徳浩（文部科学省）

関 英一（厚生労働省）

Kim, Hye Yang

（Korea Medical Library Association）

木口敏子（日本薬学図書館協議会）

物故者への黙祷

名誉顧問・会友紹介

永年勤続表彰者紹介

協会賞受賞者表彰

10:45~11:00 休憩

11:00~12:15 議長・副議長選出

審議事項

1) 平成 14 年度事業報告について

2) 平成 14 年度決算について

3) 平成 15 年度事業計画（案）につ
いて

4) 平成 15 年度予算（案）について

5) 本協会の法人化について

6) 認定資格制度について

7) その他

12:15~13:30 昼食・展示見学

13:30~14:45 審議継続

14:45~15:00 休憩

15:00~16:00 審議継続

16:00~16:20 次期当番館挨拶・閉会式